

家読（家族読書）の推進

TVやゲーム、インターネットから離れ、家族読書に取り組むことで、本の楽しさを知り、家庭生活の過ごし方を充実させる。

1 目的

- 家族と一緒に本に親しむことで、本の楽しさに気づくきっかけをつくる。
- 家族でいっしょに本を読む時間を共有することで、読書の楽しさや大切さを保護者に気づいてもらう。

2 実施方法（15分程度）

- 家族と一緒に本を読む。親子でも兄弟でもおじいちゃん、おばあちゃんでも誰と読んでもよいこととする。
- 保護者が子どもに読んであげる、子どもが読んであげる、交代しながら読む、同じ空間で別の本を読む・・・など様々な方法で実施可能とする。
- 「家読カード」に記入して提出する。（家読カードの回収は強制しない。）

かぞくどくしゅ うちどく じや
家族読書「家読」

かぞく どくしゅ の
家族で読書を楽しもう！

どんな本を

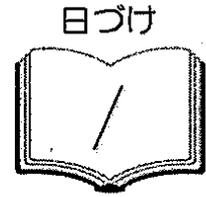
だれと どんなふうに 読みましたか。

いっしょに 読んで どうでしたか。

本のひとこと感想

年 組 名前

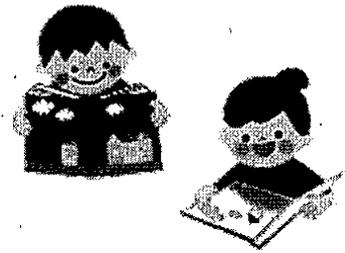
かぞくとくしょ うちどく
家族読書「家読」



かぞく どくしょ たの
家族で読書を楽しもう！

どんな本を

だれと どんなふう^よに 読みましたか。
(話し^{はな}あ^あいましたか。)

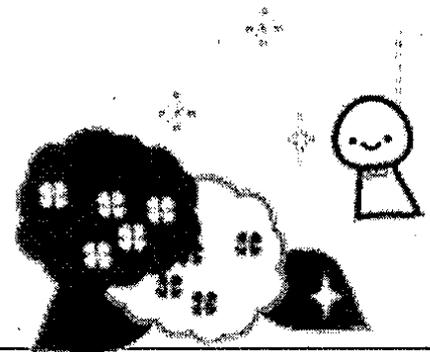
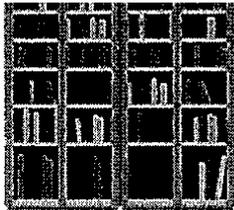


いっしょに 読んで (話し合^あって) どうでしたか。

かんそう
ひとこと感想

本人

家族



年 組 名前 _____